

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	服飾造形科	夜・通信	362 時間	80×2=160 時間	
	アパレル技術科	夜・通信	2605 時間	80×3=240 時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	711 時間	80×2=160 時間	
	高度アパレル専門科	夜・通信	1588 時間	80×4=320 時間	
	アパレルデザイン科	夜・通信	135 時間	80×1=80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>HPにて実務経験のある教員等による授業科目一覧を公開している。          (掲載：<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher.html</a>)          7月初旬に  <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/teacher/</a>          へ変更予定</p>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 (掲載： <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/facility/organization.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/facility/organization.html</a> ) 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/about/organization/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/about/organization/</a> へ変更予定
--

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	専門学校 校長 株式会社 代表取締役	2019年3月30日 ～ 2021年3月29日	ドレスメーカー学院 の教学面の管理運営
非常勤	元株式会社 特別顧問	2019年3月30日 ～ 2021年3月29日	学園の経営方針
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ドレスメーカー学院 (服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) ファッションビジネス科(2年制) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制))
設置者名	学校法人杉野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  (服飾造形科(2年制) アパレル技術科(3年制) ファッションビジネス科(2年制) 高度アパレル専門科(4年制) アパレルデザイン科(進学クラス1年制))</p> <p>【作成について】                  授業計画(シラバス)は授業科目ごとに担当する全教員が学院所定の「シラバス作成のためのガイドライン」に沿って統一様式で作成している。記載項目の冒頭は、担当教員の実務経験と授業内容との関連性を含めた「授業の方針・概要」。そして「到達目標(学修成果)」、「卒業認定の方針と該当授業科目の関連」、「授業計画」へと続く。「成績評価の方法と基準」は、当学院の評価項目(授業態度・姿勢、試験、課題、検定試験結果、企業評価)を全科目統一表記し、科目に適した比率を表示している。他にも「フィードバック方法」「教科書」「オフィスアワー」「参考文献」の項目を設けている。</p> <p>【時期について】                  授業実施年度の前年11月～12月よりクラス担当の専任教員と非常勤講師で内容を検討する。専任教員は12月に、非常勤講師は翌年1月に依頼。専任教員、非常勤講師から提出された授業計画については、内容を第三者がチェックして、修正等をして3月初旬に完成させ、4月初旬に学生に配布、その後HPで公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	HPにて授業計画書を公開している。 <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative.html</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz.html</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech.html</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high.html</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign.html</a>  7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/creative/</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/biz/</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/tech/</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/high/</a> <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/dept/adesign/</a> ～変更予定

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位授与は、学則第6章の規定に従い実施している。</p> <p>履修した授業科目は、担当教員が総合的に判断・評価する。評価項目には「授業態度・姿勢」、「試験」、「課題」が含まれ、加えて授業内でプレゼンテーションを課すことで理解度を測りながら複合的に評価をする。また、「検定試験結果」「企業評価（インターンシップ）」も該当科目において評価基準としており、授業科目の内容により適切な方法で厳格かつ適正に評価する。評価項目の評点を合計し、100点満点における60点以上を合格としている。</p> <p>成績評価、進級・卒業判定の基準は学生全員に配布している冊子「Campus Guides &amp; Diary」、各授業科目の評価方法は「授業計画（シラバス）」に明記して学生に周知し、適切に運用している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価はSABCを合格、Dを不合格としている。</p> <p>その評価基準は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>S（特に優れている）：100～90点</li> <li>A（優れている）：89～80点</li> <li>B（妥当と認められる）：79～70点</li> <li>C（合格と認められる）：69～60点</li> <li>D（合格と認められる最低限の成果に達していない）：59点以下</li> </ul> <p>本学では作品の採点の科目も多く、その場合には、「平均的な基準はB評価」とし、また、成績評価の際の評価項目を「授業態度・姿勢」、「試験」、「課題」、「検定試験結果」、「企業評価」の5つに全科目統一することで、偏ることなく、適切に評価できる方法をとっている。その項目は「成績評価の方法と基準」としてシラバスに明示している。</p> <p>成績分布状況については、学生の成績の平均点により把握している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPにて客観的な指標の算出方法を公開している。 (掲載： <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/evaluation.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/evaluation.html</a>)</p> <p>7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/m_act/evaluation/</a>へ変更予定</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定のための必須科目の学科担当教員がシラバスに明記した方針に基づき、ディプロマポリシーに掲げる科別の教育目的に従って、目標を定めている服飾関係の専門的職業で活躍できる人材育成を目指して構成されたカリキュラムの必須科目の学修成果を評価し卒業認定を行っている。</p> <p>3年生以上の上級クラスの卒業制作の成績評価は、複数名の外部審査員を招きコンテスト形式で客観評価による認定を実施している。</p> <p>卒業認定については、「ディプロマポリシー」(称号付与の方針)に明記し、学生全員に配布している冊子「Campus Guide s &amp; Diary」とHPに掲載し、公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>「Campus Guide s &amp; Diary」にディプロマポリシーとして明記 HPにて卒業認定に関する方針を公開している。 (掲載： <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy.html</a>)</p> <p>7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/policy/</a> へ変更予定</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ドレスメーカー学院
設置者名	学校法人杉野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html</a> 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a> へ変更予定
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html</a> 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a> へ変更予定
財産目録	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html</a> 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a> へ変更予定
事業報告書	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html</a> 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a> へ変更予定
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance.html</a> 7月中旬に <a href="https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/">https://www.sugino.ac.jp/gakuen/governance/finance/</a> へ変更予定

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	服飾造形科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1888 単位時間/単位	206 単位時間 /単位	618 単位時間 /単位	1410 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2234 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		93人	5人	4人	20人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して実習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 (100%)	19人 ( 51.4%)	12人 ( 32.4%)	6人 ( 16.2%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱アダストリア、㈱エイ・ネット、㈱キャン）製造業（㈱アン・コットン、 ㈱ファッションクロスフルシマ）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など） 就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))          洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	12人	12.4%
<p>(中途退学の主な理由)          学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)          学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する保健室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。          クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。          また、平成 29 (2017) 年度から実施されたオフィスアワーでは、授業担当教員に質問しやすい環境を整えたこともあり、中途退学者の予防を強化したといえる。平成 30 (2018) 年から実施している「退学・除籍経緯報告書」では報告項目を追加し、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えた。          保護者との連携を蜜にするうえで、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施し、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、連携をもって退学の予防に努めている。</p>		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレル技術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2789 単位時間/単位	386 単位時間 /単位	765 単位時間 /単位	2358 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3509 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		40人	1人	5人	18人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して実習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	11人 (78.6%)	3人 (21.4%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱アズノウアズ、㈱アルページュ、イトキン㈱、㈱ファイブフォックス）製造業（松竹衣裳㈱、㈱おしゃれ工房）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、フォーマルスペシャリスト検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	3 人	6.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学業遅滞を契機とする専攻分野不適應や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する保健室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、平成 29 (2017) 年度から実施されたオフィスアワーでは、授業担当教員に質問しやすい環境を整えたこともあり、中途退学者の予防を強化したといえる。平成 30 (2018) 年から実施している「退学・除籍経緯報告書」では報告項目を追加し、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えた。</p> <p>保護者との連携を蜜にするうえで、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施し、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、連携をもって退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
服飾・家庭		服飾専門課程	ファッションビジネス科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1693 単位時間/単位	250 単位時間 /単位	1098 単位時間 /単位	465 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1813 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18人	0人	2人	19人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して実習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
（主な就職、業界等） テキスタイルメーカー（株AGIRLS）、小売業（株フォーティーン）のファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))          洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、ファッション販売能力検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>11人</p>	<p>3人</p>	<p>27.3%</p>
<p>(中途退学の主な理由)          学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)          学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する保健室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。          クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。          また、平成 29 (2017) 年度から実施されたオフィスアワーでは、授業担当教員に質問しやすい環境を整えたこともあり、中途退学者の予防を強化したといえる。平成 30 (2018) 年から実施している「退学・除籍経緯報告書」では報告項目を追加し、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えた。          保護者との連携を蜜にするうえで、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施し、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、連携をもって退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
服飾・家庭		服飾専門課程	高度アパレル専門科			○
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4年	昼間	3903 単位時間/単位	328 単位時間 /単位	945 単位時間 /単位	2750 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			4023 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		27人	0人	4人	22人	26人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して実習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（アイア㈱、㈱アダストリア、㈱ベイクルーズ、㈱銀座テーラーグループ）製造業（㈱おしゃれ工房）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>洋裁技術認定試験、ファッションビジネス技術検定、パターンメイキング技術検定、ファッション販売能力検定、ファッション色彩能力検定、フォーマルスペシャリスト検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	1 人	4.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学業遅滞を契機とする専攻分野不適應や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する保健室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、平成 29 (2017) 年度から実施されたオフィスアワーでは、授業担当教員に質問しやすい環境を整えたこともあり、中途退学者の予防を強化したといえる。平成 30 (2018) 年から実施している「退学・除籍経緯報告書」では報告項目を追加し、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えた。</p> <p>保護者との連携を蜜にするうえで、1 年生には入学時と 11 月の 2 回、2 年生では 11 月に 1 回保護者会を実施し、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、連携をもって退学の予防に努めている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家庭		服飾専門課程	アパレルデザイン科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	901 単位時間/単位	61 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1051 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
35人		19人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担当講師が課題制作の進捗状況を常に把握しながら、放課後に教室を開放して実習させるなど、遅れが生じることのないように支援している。 授業担当講師が学生の相談受付を受ける時間を「オフィスアワー」としてシラバス上で公開しているほか、随時、担任教員を介してコミュニケーションをとり、支援していくことが可能となっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	1人 ( 9.1%)	10人 ( 90.9%)	0人 ( 0%)
（主な就職、業界等） アパレルメーカー（㈱アンビデックス、㈱サンエー・ビーディー、㈱ジュン、㈱ノーリーズ、㈱レイ・カズン）衣裳関連会社（㈱宝塚舞台）など、ファッション関連企業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス（業界・企業研究、エントリーシート・履歴書対策講座、面接対策講座など）就職個別面談（就職相談、書類添削、面接練習など）			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))          洋裁技術認定試験、ファッション色彩能力検定、ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	0人	0.0%
<p>(中途退学の主な理由)          学業遅滞を契機とする専攻分野不適応や進路再検討が退学理由の半数を占める。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学院ではクラス担任と学科長による相談、及び保護者への連絡、更に科目担当教員による働きかけの活用、メンタル面では専任のカウンセラーを配置した学生相談室や看護師が在室する保健室と連携して、学生に接しながら、関係者が協力して退学の予防を図っている。</p> <p>クラス担任は日常の出欠席、遅刻の確認と学校生活、授業態度等の確認を定期的及び必要により随時行い、欠席、遅刻、作品遅滞の多い学生の状況を把握し、退学の兆候を見逃さないようにしている。</p> <p>また、平成 29 (2017) 年度から実施されたオフィスアワーでは、授業担当教員に質問しやすい環境を整えたこともあり、中途退学者の予防を強化したといえる。平成 30 (2018) 年から実施している「退学・除籍経緯報告書」では報告項目を追加し、退学者軽減のためのデータ分析が行える状況を整えた。</p> <p>保護者との連携を蜜にするうえで、1年生には入学時と11月の2回、2年生では11月に1回保護者会を実施し、欠席、遅刻、課題遅滞の状況を伝え、連携をもって退学の予防に努めている。</p>		



## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
服飾造形科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円 実験実習費 85 千円
アパレル技術科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円 実験実習費 85 千円
ファッションビジネス科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円 実験実習費 85 千円
高度アパレル 専門科	150 千円	580 千円	225 千円	施設設備費 140 千円 実験実習費 85 千円
アパレルデザイン科	140 千円	570 千円	220 千円	施設設備費 140 千円 実験実習費 85 千円 内部進学者は入学金免除
修学支援 (任意記載事項)				
<p>本学では経済的な理由により修学困難な学生、又は受験時・入学時には納付金軽減のため以下の給付型奨学金を設けている。</p> <p>在校生対象：杉野学園奨学金、利子補給奨学金、杉野学園緊急時奨学金、「大学等における修学の支援に関する法律」による学校法人杉野学園の授業料等減免</p> <p>新入生対象：同窓生特別免除制度、杉野学園新入生奨学金、全国ファッションデザインコンテスト奨励金 (杉野学園主催の全国ファッションデザインコンテスト高校生の部において優秀な成績を取めた者を対象)</p>				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html</a> 7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/</a> へ変更予定
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
(1) 規程の整備 本学院では、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に従い、平成 28 (2016) 年 4 月「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」を制定している。
(2) 組織体制の整備、毎年度の実施 「ドレスメーカー学院学校関係者評価委員会規程」に基づき、「学校関係者評価委員会」を組織して実施体制を整備し、平成 28 (2016) 年度より年 2 回学校関係者評価委員会を実施している。
(3) 関連業界等からの委員の選任 学校関係者評価委員は、業界等委員 2 名、学校関係者 1 名の合計 3 名により編成している。
(4) 改善への取り組み 学校関係者評価により指摘された課題については、改善できる可能性の高い順に取り組んでいる。学校関係者評価報告書には、「課題・対策」の欄を定めここに改善の進め方を明記した上で活動し、PDCA サイクルを活用した改善を目指している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ファッション関係のビジネス学会理事	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	業界団体委員
ファッション専門学校の学校長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	学校関係者
百貨店の社外取締役 コンサルタント会社経営 百貨店の元代表取締役	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html</a>		
7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/</a> へ変更予定		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		
<a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure.html</a>		
7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/hyouka/</a> へ変更予定		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure2.html">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure2.html</a>
7月初旬に <a href="https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/education/">https://www.dressmaker-gakuin.ac.jp/about/disclosure/education/</a> へ変更予定